

「新聞感想文」部門 対象:小・中・高校生

1 下の課題①②いずれかを選んでください。

課題① 「〇〇新聞〇月〇日〇面の〇〇の記事を読んで」
記事に対する感想やあなたの考えを書いてください。
webunプラスの記事も使用できます(文字が読める大きさと印刷したものを使ってください)。

課題② 「新聞について思うこと」
例「わたしが新聞記者だったら」「新聞とわたしたちの暮らし」など。
★文字は濃く、読みやすく書いてください。★鉛筆で書く場合は2BまたはBを使ってください。

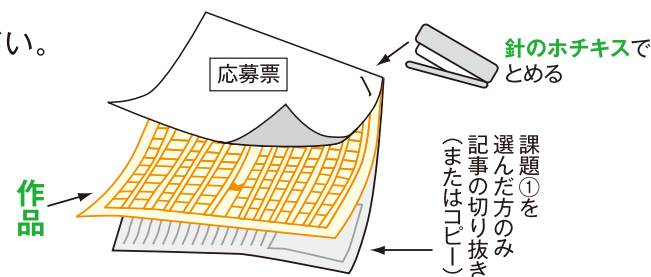


2 コンクール専用原稿用紙は、わたしの新聞コンクールのホームページからダウンロードできます。または市販の400字詰め原稿用紙をお使いください。

小学生は400字詰め原稿用紙1枚以上3枚以下(400字～1200字)。
中学生と高校生は2枚以上3枚以下(800字～1200字)に収めてください。
※字数が規定に満たない場合、または超えた場合は審査対象外となります。

3 応募票、感想文、新聞記事を重ねて提出してください。

- 下の応募票を切り取ってご使用ください。
- 応募票、記事の切り抜きやコピーは原稿用紙に貼り付けてください。
- セットにして右上を針のホチキスではずれないようにとめてください。



キリトリ線

わたしの新聞コンクール 新聞感想文部門・応募票

ふりがな	男・女	ふりがな
名 前		保護者名
住 所 〒		☎
学校名	学校	学 年 年
感想文題名		
課題選択 (1か2に○)	1. 新聞 月 日付の記事を読んで 2. 新聞について思うこと	

※原稿用紙の1行目に 感想文題名 2行目に 課題選択(例)「新聞 月 日の記事を読んで」3行目に 学校・学年・名前を記入したあと、本文を始めてください。

第22回

わたしの

新聞

コンクール



応募要項

第22回わたしの新聞コンクールは、「かべ新聞」「家族de新聞スクラップ」「新聞感想文」の3部門で作品を募集します。いずれの部門もユニークで優れた作品を表彰し、北日本新聞やホームページで紹介します。入賞・入選者には、賞品やオリジナルグッズを贈ります。

かべ新聞

小・中学生 対象

「なぜ?」「どうして?」と疑問に感じたことを取材し調べてください。驚いたこと、誰かに伝えたいこと、思ったことを手作りのかべ新聞にまとめてください。

- 応募はかべ新聞の専用台紙を使用してください(学校や北日本新聞販売店にあります)。
- グループ(4人まで)でも応募可能です。
- よく取材してわかりやすくまとめた作品を表彰します。

家族de新聞スクラップ

小・中学生 対象

気になった記事を切り抜いて専用シートに貼り付け、家族や友だちと話し合っ意見や感想をまとめてください。

- 家族de新聞スクラップの専用シートを使ってください。
- シートは学校や北日本新聞販売店にあります。また、ホームページから印刷できます。
- 記事をもとにした意見や思いをわかりやすくまとめた作品を表彰します。

新聞感想文

小・中・高校生 対象

- 課題を選んで応募してください。
①「〇〇新聞〇月〇日〇面の〇〇の記事を読んで」と副題を付け、記事の感想やあなたの考えを書いてください。webunプラスの記事も使用できます。
②「新聞について思うこと」
例「わたしが新聞記者だったら」「新聞とくらし」など
- コンクール専用原稿用紙または市販の400字詰め原稿用紙を使ってください。
- 記事を選ぶ視点を評価し自分の考え、意見が書かれている作品を表彰します。

スクラップ専用シート・感想文原稿用紙はホームページからダウンロードできます。

応募締切 2025年 10月31日(金) ※必着

応募先 作品は、学校またはお近くの北日本新聞販売店、北日本新聞社(本社・支社)へご提出ください。
〒930-0094 富山市安住町2-14 北日本新聞社「わたしの新聞コンクール」係

お問い合わせ 北日本新聞社読者センター TEL.076-445-3412(平日9～17時)

※作品は未発表のものに限り、AI(人工知能)の使用は不可とします。作品の著作権は北日本新聞社に帰属し返却しません。作品及び記入された個人情報は、北日本新聞社と販売店で適切に管理し、北日本新聞の各種ご案内に使用します。※金賞銀賞作品は、北日本新聞の特集紙面等で顔写真付きで紹介し、※作品公表の際には、表現を変更させていただくことがあります。

応募要項、過去の優秀な作品は
わたしの新聞コンクール Q



「かべ新聞」部門 対象:小・中学生

◎個人でもグループでも応募できます。かべ新聞専用台紙をタテに使ってください。

調べたり、取材したことをわかりやすくまとめてください。

1 テーマを決めて取材に出かけよう

疑問に感じたことや興味がわいたことなどを掘り下げて調べてください。
取材に出かけ、相手に目的を伝えて、質問しましょう。礼儀正しく、帰りのあいさつも忘れずに。

2 取材のコツ

「5W1H」いつ(when)・どこで(where)・だれが(who)・なにを(what)・なぜ(why)・
どのように(how)を考えながら、話を聞いたり調べたりしよう。

3 タイトルのコツ

ひと目で何を伝えたい新聞かわかるようにタイトルをつけましょう。

タイトルの例 セミの観察新聞 立山登山新聞

4 記事のコツ

事実やあらすじ、大事なことから書き
始めて、順にくわしく書いていきます。

5 見出しのコツ

見出しは「誰が何をした」
「何がどうした(どうなった)」という
ことがわかるように付けてください。

見出しの例

北陸新幹線 富山を走る
※長すぎず短すぎず8~12文字程度が
いいとされています。

6 写真やイラスト

写真やイラストを使うと、
わかりやすく伝わります。
写真説明も付けてください。

★かべ新聞専用台紙は学校や北日本新聞販売店にあります。



[制作例]



「家族de新聞スクラップ」部門 対象:小・中学生

◎専用シートで応募してください。



1 新聞を読む

2 取り上げる記事を決める

3 記事を切り抜いて専用シートに貼る

4 見出し・タイトルをつける

5 読んで思ったことや考えたことを書く

6 家族や友だちに見せて、コメントを書いてもらう

7 もう一度読んでできあがり。提出してください

- スクラップ専用シートは学校や北日本新聞販売店にあります。
複数枚使った場合は、右上をホチキスでとめて提出してください。
- ホームページ(わたしの新聞コンクール 検索)で専用シートをダウンロード、印刷できます。

▼小学6年生の作品



▼中学2年生の作品



※第21回(2024年)の入賞作品です。

第22回 わたしの新聞コンクール

主催/北日本新聞社、北日本会(北日本新聞販売店)

後援/富山県教育委員会、富山県市長会、富山県町村会、富山県各市町村教育委員会、富山県高等学校長協会、
富山県中学校長会、富山県小学校長会、富山県私立中学高等学校協会、富山県PTA連合会、富山県高等学校PTA連合会、
富山県児童クラブ連合会、富山県ケーブルテレビ協議会